

埼玉新聞

2025年 (令和7年) 2月20日 木曜日

きょうは何の日

旅券の日、アレルギーの日



埼玉新聞社 〒331-8686 さいたま市
北区吉野町2-282-3
本社代表 048-795-9930

ニーズの多様化をソリューションする
ぶざん 総合リース
武蔵野銀行グループ

さいたま市大宮区桜木町1-10-8 武蔵野銀行本店ビル7階
TEL 048-642-1231

11 「逆さ柱」類似の建築

熊谷市の諏訪神社本殿が、日光東照宮陽明門の「逆さ柱」と類似する建築手法で施工されていたことが、ものづくり大学の大学院生の調査で明らかになった。



「逆さ柱」類似の建築手法

ものづくり大学院生が発見

熊谷の諏訪神社 日光東照宮の影響か

熊谷市上新田の諏訪神社本殿（県指定有形文化財）について、日光東照宮陽明門の「逆さ柱」と類似する建築手法で施工されていたことが、ものづくり大学大学院2年生で横山研究室の星辰之介さん(24)の調査で明らかになった。星さんは「あえて未完成の状態にすることで、災いを避ける狙いがあった」と語った。（桜井和憲）



日光東照宮陽明門の「逆さ柱」と類似する部分を発見した
星辰之介さん—熊谷市上新田の諏訪神社

本は入子菱繋（いりこびしつなき）文、紗綾（さや）形文を順に組み合わせているが、北西柱だけは紗綾形文、入子菱繋文の逆の順番だった。逆さ柱を意識したもので、建物の状況からも大工棟梁が意図的に行なったことが判明した。本殿は十二支の彫刻も備わっていたが、蛇の彫刻だけでなく、主祭神が蛇神であることや、申（さる）が本来配置されるべき場所とは逆側の戌（いぬ）とは対角側にあり、犬狼の中の関係を踏まえて切り離れた配置にしていたことも分かった。星さんは「2年間の研究成果」と話した。本殿は5月18日に一般公開を予定する。

諏訪神社の本殿は1746（延享3）年に柴田信右衛門

り、2016年に県指定有形文化財となり、その後は保存修理工事も行われた。

ちおおすみまさのぶの嫡男、応勝（まさかつ）の次男が林家へ養子に入り、歓喜院聖天堂の大工棟梁の林兵庫正清と

もので、大工棟梁（とつりょう）の内田清八郎や彫り物大工棟梁の石原吟八郎らが妻沼

日光東照宮の逆さ柱は「建物は完成と同時に崩壊が始まる」という伝承を逆手にとり、わざと柱を未完成の状態にする

諏訪神社の本殿は4本の本柱のうち北西柱1本がほかの3本と彫刻の配置が違つ。3

の工事中断の期間中に手がけた。本殿全体が精巧で緻密な彫刻によって装飾されてお

ることで魔除けの意味がある。日光東照宮の工事に携わった平内大隅政信（へいのつ

る。日光東照宮の工事に携わった平内大隅政信（へいのつ